

市民及び教員へのプログラミング授業実施

令和6年度 市民提案型協働事業

特定非営利活動法人

Solaris



NPO法人 Solaris

市民へのプログラミング教育を推進するために設立された非営利組織。
地域社会におけるプログラミング教育の普及を行っている。

1.CoderDojo Aizu

小・中・高生を対象にしたプログラミング教育クラブを運営。
子供たちがプログラミングの楽しさを体験し、創造力を育むことを目的とする。

1.CoderDojo BANDAI

磐梯町教育委員会と連携。会津大学生が中心となって運営している。

2.ゆるゆるプログラミング部

女性限定のプログラミング学習サークル。女性のICT分野推進支援のために実施。



CoderDojo Aizu
コーダードージョー会津

CoderDojoは小・中・高校生のための無料プログラミング道場

子供たちが自主的にプログラミングを学ぶ場を提供する無償の取り組み。アイルランド発祥。地域の企業に勤めているITエンジニアや有志達がボランティアで運営している。世界で2000、国内にも190以上の活動拠点がある。福島県は7か所

CoderDojo Aizu

福島県で最初のDojoとして2017年4月に設立。毎月第3土曜日開催。メンター6名。毎回12名程の児童が参加。

@神明通り旧TSUTAYAビル3F
フリースペース



ICT教育の課題

- CoderDojoは専門家らによる無償の I C T 教育活動であるが、市民への認知度が低い。
- 小・中学校の教員へのプログラミング教育が不足しており、授業に活用できていない。
- 市の委託事業でのプログラミング教育は学校にノウハウが残らず、人材育成と資金面で持続性に問題がある。

市民協働の必要性

市、市民、学校が連携し ICT教育を拡充する。

- ・ **専門性の活用**：専門知識を持つCoderDojoを学校授業に活用
- ・ **行政との連携**：教育機関との連携や高額教材の有効活用
- ・ **市民に広げる**：テキストの無償公開、市民講師の育成
- ・ **スマートシティ実現に貢献**：市民のICTスキル向上

R5 活動実績

メンター育成

マイクラワークショップ (6/30,7/1 2名)

Micro:bitワークショップ(7/29,8/4)

会津若松市インターンシップへの協力 (10/3 – 10/5)

メンター育成講座 (7/15,8/19,9/16,10/21,11/18,12/16 各回2名)

ロボットプログラミング授業支援

11/18 ザベリオ小 20名程度、11/24 東山小 20名程度 計：2校 約40名

プログラミング授業

12/20,12/26 若松1中 20名、2/6,2/7 湊小 25名、2/5,2/8城北小 53名、

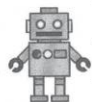
2/16鶴城小 約50名、2/20,2/22 門田小64名

計：5校 約200名

R5 授業のお礼状紹介

鶴城小学校 6年生より

ありがとうございました



プログラミングを教えてくれた方々へ
先日は、プログラミングを教えてくださり
ありがとうございました。

私は、あまりPCを使ったりするのが苦手で、
クラスでタブレット/パソコンを使っているときも、スク
ラッチはやっていませんでした。ですが、プログラミング
教室でスクラッチをくわしく使って、使い方が
わかれば、楽しく感じるんだと思いました。

私は、将来の夢を考えた時、いつもPCを使
たりするのは無理だなど思っていたけど、いいかもしれ
ないと思いました。

先日は、本当に、プログラミングを
教えてくださり、ありがとうございました。



荒館小学校 6年生より

楽しませてくれたみなさまへ

今日は、プログラミングについて教えていただき
ありがとうございました。私はあまりプログラミングは
得意な方ではありませんがこれを活用して人が
できない難しい動きをできるようになると救助や
手術など未来でつかえるのではないかと思っていま
す。プログラミングを使いこなせるようにかんばろうと思いま
す。

より

プログラミングに苦手意識を持つ
児童の意識を変革できた

教育委員会から協力を得られた

- 各小学校に協働事業を紹介頂いた
- 2024年度は協力体制を築くことになった

R5 メディア掲載

30都道府県以上の
地域で紹介

2023年12月5日 朝日新聞（地域総合版）

32位

世界デジタル競争力ランキング

AI人材 地方で独自育成の動き

急速に身近になってきたAI。ただ導入や運用などを担う技術者の不足が普及の壁となっている。国は学校の授業に「情報」を採用。地方では、AI・デジタル人材を独自に育てる動きが広がっている。

山形県では地元の産官学が連携し、学校横断の高校生向けの部活動「やまがたAI部」が2020年にスタートした。4月に入部した生徒はオンラインで基礎を学び、実習や企業見学などを経て、翌年3月の「やまがたAI甲子園」で成果を競う。

今年度の参加者は県内生が27校150人、県外生が東京都や熊本県などの17校130人。県外生を受け入れているのは「お互いに切磋琢磨するようになり、県内生のレベルアップにつながる」（事務局）と考えたからだという。県外生は県内生と違って指導役

となるメンターを自ら確保しなければならないが、県内生に迫るほどの人数が増えてきた。

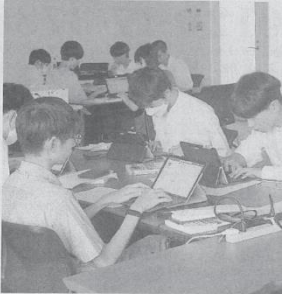
山口県でも、県教育委員会が県情報産業協会に委託して、「やまぐち高校生データサイエンティスト育成講座」を21年度から開いている。講師や教材を提供しているのはAI開発などを手がける「SIGNATE」（東京）。県教育庁教育情報推進室は「より高いレベルの学習機会を提供することが生徒一人ひとりの可能性を広げることになり、県の発展にもつながっていく」と話す。

1年生で基礎講座を、2年生の時にステップアップ講座を受けた山口高校3年の斎藤琉翔さんは、小学校高学年の時からプログラミングをしていたが、AIにも興味があり、県のホームページを見て応募した。この2年間は「達成感があった」と振り返る。卒業はAIの研究者になるのが目標だ。

福島県会津若松市では、地域課題の解決などに向けたアイデアを市民から募集。その提案者と市がともに取り組む今年度の「市民提案型協働事業」に、地元の技術者団体「CoderDojo Aizu（コーダー・ドジョー会津）」の提案が選ばれた。

ドジョーの技術者が学校でプログラミングを教えると同時に、今後学校で講師を務められるよう高校生や大学生、社会人を対象とした育成事業も行う。ドジョーの島影亮輔代表は「こうした仕組みによって持続可能な教育につながる」と話す。

「やまぐち高校生データサイエンティスト育成講座」に参加する高校生たち
11月20日、山口県教育委員会提供



が報じており、23年は64カ国・地域中32位だった。若い世代への期待がわかる。（大塚晶）

福島県会津若松市では、地域課題の解決などに向けたアイデアを市民から募集。その提案者と市がともに取り組む今年度の「市民提案型協働事業」に、地元の技術者団体「CoderDojo Aizu（コーダー・ドジョー会津）」の提案が選ばれた。

ドジョーの技術者が学校でプログラミングを教えると同時に、今後学校で講師を務められるように高校生や大学生、社会人を対象とした育成事業も行う。ドジョーの島影亮輔代表は、「こうした取組によって持続可能な教育につながる」と話す。

R6 事業内容

R5年度の事業を継続・発展させ、プログラミング教育の拡充と持続可能な体制の構築を目指す。

- ・ **小・中学校でのプログラミング授業実施**

テキストプログラミングにステップアップ

- ・ **教員へのプログラミング研修実施**

先生もプログラミングを学び、授業に活用する

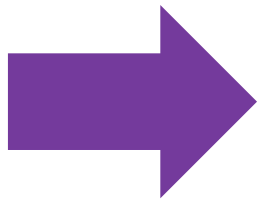
- ・ **メンター活躍モデルへのシフト**

講師デビューしたメンターに活躍の場を提供

小・中学校でのプログラミング授業

テキストプログラミングに挑戦

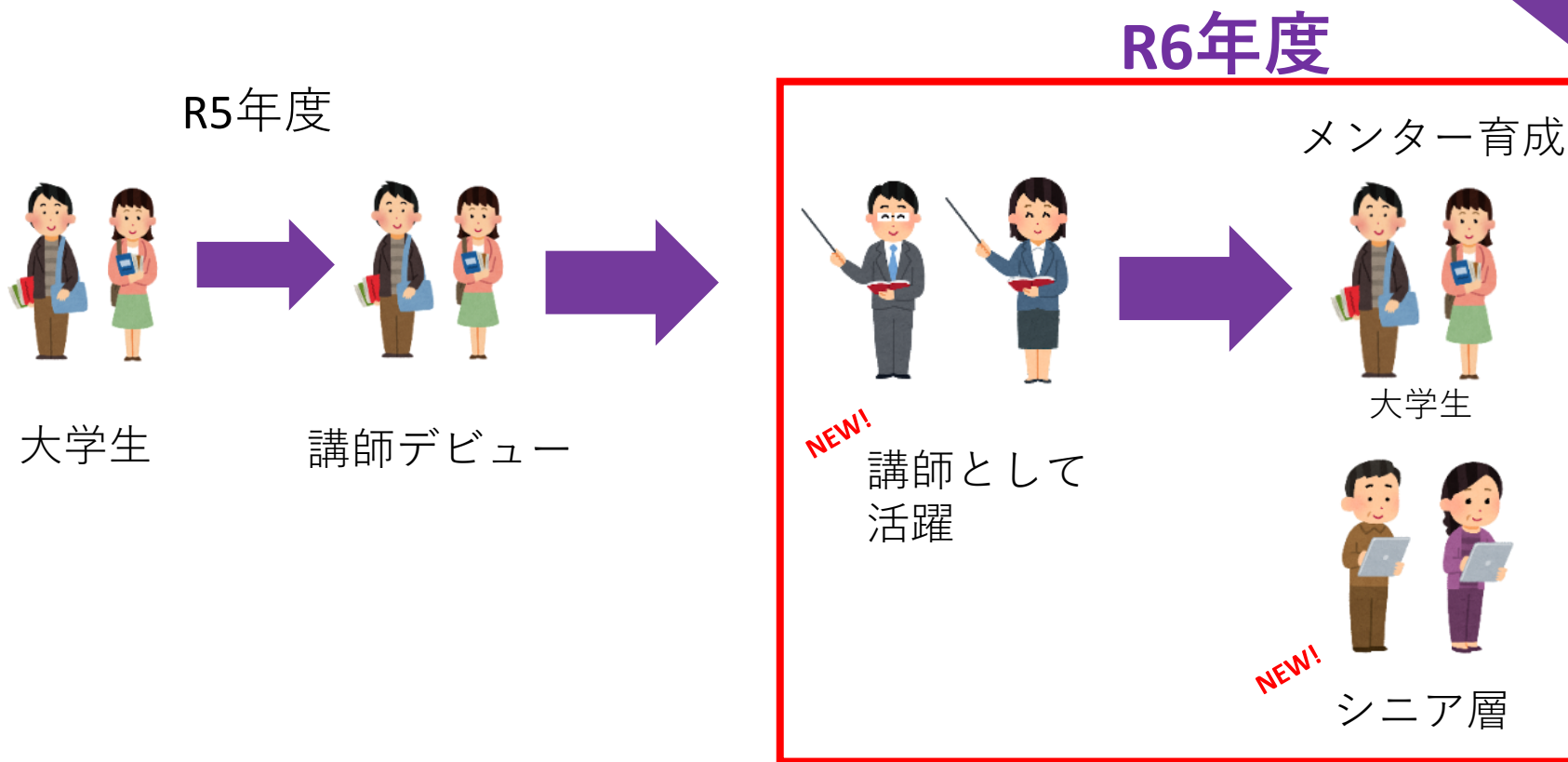
ブロックプログラミング



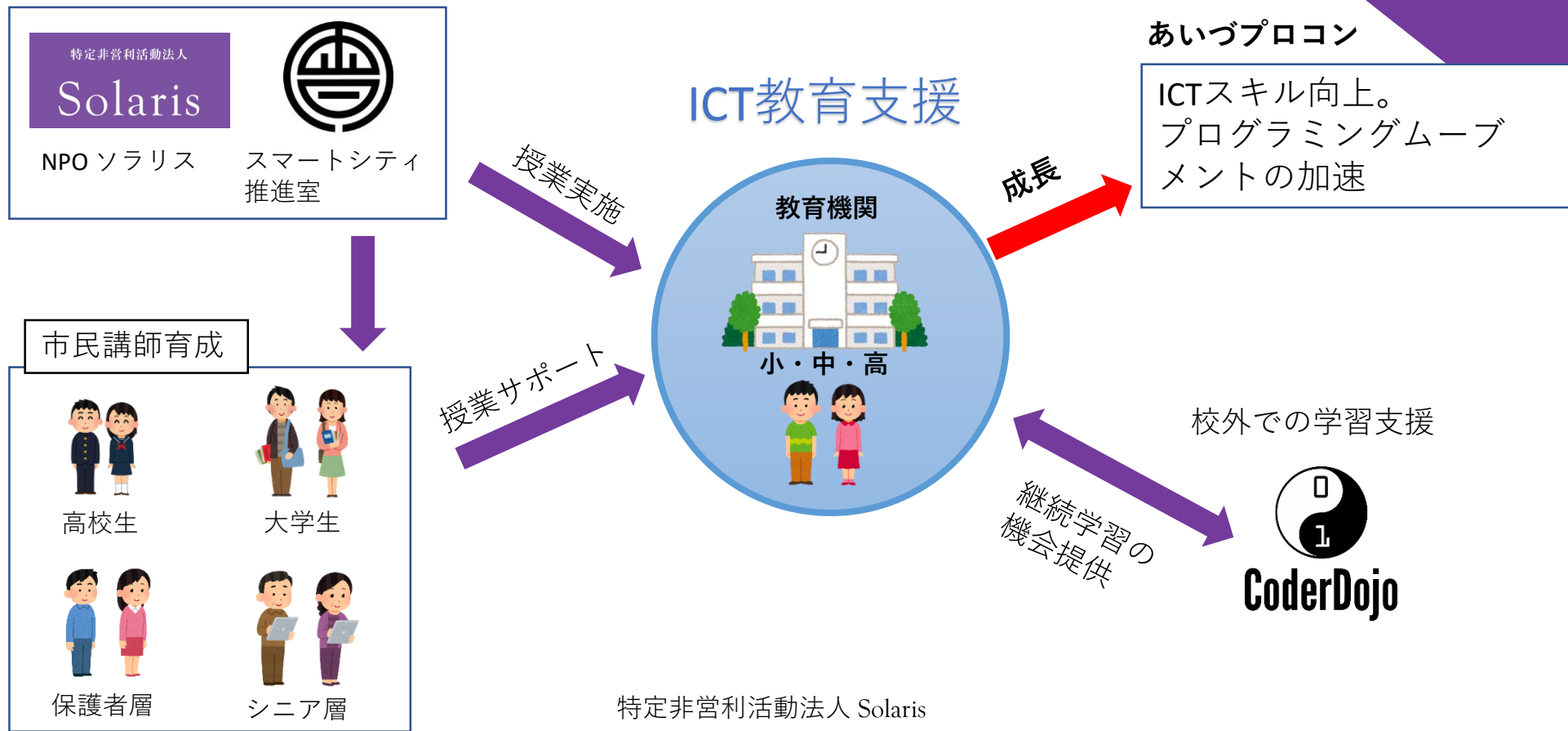
テキストプログラミング



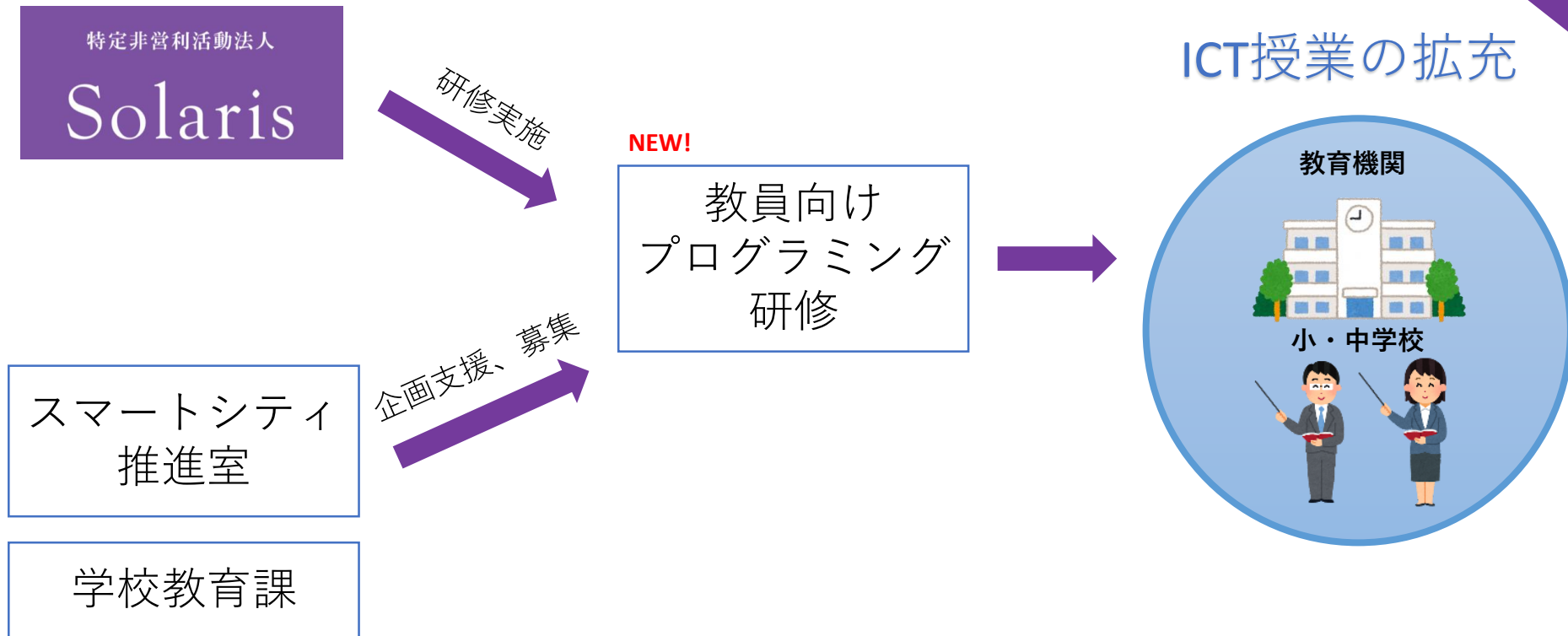
メンター活躍モデルへのシフト



事業計画（児童向け）



事業計画（教員向け）



役割分担・組織（具体的な取組に関する協働）

NPO Solaris 人材育成、ICT教育

1. 講座の企画・実施
2. CoderDojo 活動
3. 講師育成

スマートシティ推進室 全体統括

1. 全体企画、学校からの要望とりまとめ
2. あいづプロコン広報活動
3. CoderDojo の広報支援

NEW!

学校教育課 教育機関との連携

1. 小・中学校へのプログラミング授業導入の調整
2. 教員向けプログラミング研修の支援・受講者募集
3. 小・中学校と CoderDojo との連携促進

【関連団体】

パソコン甲子園事務局（会津大学）
会津高校 電気部
会津工業高校 情報科

実施スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校機関			講座企画 対象校募集 授業実施 1校あたり2回、合計8回を実施									
教員向け			研修内容 企画		研修 実施							

創造的に生きよう

